

ハンドサインと移動ド唱法

1. ハンドサインと内的聴感

移動ド唱法の最大のメリットは、「相対的な音感の獲得をとおして良い耳をつくる」ことであるが、ここでいう「良い耳」とはたんに聴覚が優れているということではなく、ある音を音楽的文脈の中で関係性をもって感じ取ることのできる能力のことを指している。

ハンガリーの作曲家で教育者でもあるコダーイ・ゾルターン（1882-1967）は、ジョン・カーウェン（1816-1880）によって考案されたハンドサインを改良して子どもの教育に用いた（図1）。コダーイの理論にもとづく音楽教育では、子どもの内的聴感¹⁾の発達を促すことが中心に据えられる。この内的聴感なくしては、正確な音程で歌ったり演奏したりすることができないばかりか、音楽を聴いて楽しむことさえおぼつかない。したがって、内的聴感こそが読譜指導以前の重要な音楽教育の基礎・基本であるといえる。

ハンドサインは、ドレミのシラブルとともに歌いながら用いられる。音楽の授業で用いるときには、教師は自分の顔の前に手を出し、子どもたちと常にアイコンタクトをとる。子どもたちは、教師の手を常に注視している。そして、ひとつの音を歌っている間に教師の手が次の音を示すので、子どもたちの頭の中には自分が出している声とハンドサインによって頭の中で想起する音が同時に鳴ること

になる。

ハンドサインで簡単なメロディーを即興的につくったり子どもたちがすでに知っている歌を用いたりして、慣れてきた頃に、ハンドサインを見ながら声を出さないで（頭の中だけで）歌う「サイレントシンギング」を加えていく。こうして子どもたちは自らの視覚と音程感覚を連動させながら内的聴感を実感するようになる。そして、この後にトニックソルファ譜（リズム譜の下にドレミを書いた楽譜）などを用いながら徐々に移動ド唱法による視唱に入るとよい。

図1 ハンドサイン²⁾

トニック・ソルファ法		コダーイ・システム	
TE			TE
LAH			LAH
SOH			SOH
FAH			FAH
ME			ME
RAY			RAY
DOH			DOH
TA			TA
SE			SE
FE			FE

2. シャープはシ、フラットはファ

「いちばん右側のシャープ（＃）はシ、いちばん右側のフラット（b）はファ」

移動ド唱法による歌唱指導を行うにあたって、子どもたちに説明すべきことはこれだけだ。階名で歌うことを「楽典の勉強」だと思っている先生もいるようだが、ドレミはもともと「音楽の学習をやさしくするために」生まれたものであって、音楽理論の説明のためにつくられたものではない。

もっとも、「音楽のしくみ」の多くがこの階名に包含されていると言っても過言ではない。その歌がドで終わればそれは長調であり、その歌がラで終わればそれは短調である。そして、そのドの音名がト（G）であればト長調（G Major）で、そのラの音名がホ（E）であればホ短調（e minor）ということになる。また、主要三和音（主和音、下屬和音、属和音）を聴き取ったり曲の終わる感じ（完全終止）や続く感じ（半終止、不完全終止）を感じ取ったりするよりどころになるのも階名である。

中学校学習指導要領の「第3 指導計画の作成と内容の取り扱い」に「相対的な音程感覚などを育てるために、適宜、移動ド唱法を用いること。」と明記されているのも、こうした音同士の相対的な関係性に着目し、音と音とのつながり方をとらえて、フレーズなどを意識した音楽表現を工夫する能力を養うことを狙っているからである。

3. 無意識の意識化について

子どもたちは、生まれて間もなくマザリーズ³⁾によってピッチマッチ（音の高さを相手に合わせること）の能力を備え、幼児期の遊びの中でその能力を開花させる。そして、これまでの経験の中で多くの愛唱歌を持ち、音楽を聴くことによって無意識に「音楽のしくみ」のパターン記憶を蓄えている。

学校教育では、そうした子どもたちの無意識的な経験や知識を組織化し、自らの意志でそれらを操作しようとする能力を計画的に育てることが必要となる。こうして意識下に置かれた「音楽のしくみ」は、子どもたちを音楽的に育てるばかりでなく、自然科学や社会科学における客観的で創造的なものの考え方や価値判断能力をも育て、ひとりひとりの明るい未来をつくるのである。

（北山敦康）

1) 「内的聴感」とは、自分の頭の中で音を思い浮かべることのできる音楽的能力のこと。「内的聴覚」ともいう。

2) 東川清一「読譜力 伝統的な『移動ド』教育システムに学ぶ」（春秋社、2005）p. 159

3) 母親が乳幼児に話しかけるとき言葉で、普通の会話よりピッチがやや高め、なかば歌うようなゆっくりした話し方のこと。乳幼児の言葉の獲得や情緒をはぐくむ重要な養育行動のひとつとされている。